

地球惑星科学委員会 地球惑星科学企画分科会(第24 期・第10 回)

議事録

日 時 : 2020年3月10日(火)13:00-15:00

場 所 : 遠隔会議(Zoom 使用)

参加者: 藤井良一, 田近英一, 木村学, 中村尚, 大谷栄治, 川幡穂高, 中村卓司, 西山忠男

欠 席 : 春山成子、高橋桂子

事 務 : 陪席(参加)なし

議事

議事に先立ち、委員長より来年度の各分科会などの開催予定調査の締め切り間近であること、対応を宜しく願う旨発言があった。

1. 前回議事録の承認

2. JpGU ユニオンセッションのプログラムについて

一部講演者を入れ替えた。連合大会の規則にのっとり時間を一部変更した。呼びかけの主旨に則り、講演での強調迫加点を以下のようにお願いすることとした。

- ・ 事業によって取得されたデータに加えて、大学やプロジェクトによって取得されたデータの共有化、アーカイブ化レポジトリについても言及してもらう(気象、海洋など)。
- ・ データプラットフォームの検討例(東大)や図書館利用の検討例などもあれば紹介してもらう。
- ・ 試料。資料アーカイブ化について博物館(大学を含む)の現状についても報告してもらう。

3. オープンデータ関連シンポジウムの開催について

- ・ 連合大会ユニオンセッションでの情報交換の後、学術会議提言公開という推移を受けて、地球惑星科学分野での具体化について議論すべき。
- ・ 具体化が2022年度予算申請つながるようなところまで深まれば意義あり。
- ・ 第24期のまとめとして時期へ申し送りすべき。
- ・ 9月末までに開催するということで、日程調整をすることとした。
- ・ データ保存機関としての図書館の新たな役割も盛り込むべき。
- ・ 試料の保存としての博物館の役割を具体的に論ずる部分も加えるべき。

4. 第25 期地球惑星科学委員会について

次期会員、連携会員を決めていく過程にある。

5. その他

- ・ 報告「夢ロードマップ」について査読の結果が戻ってきた。「分野との融合方向を具体的に」、図表の縦軸がそれぞれ違う、など難しいコメントがあった。後者については、地球惑星科学は内部

の多様性から、統一的には描けないということを、委員会では確認して執筆したと返答することを確認。あとは執筆者間で調整することとした。

- ・ 5月26日に企画分科会、人材育成分科会主催の全国地球惑星科学系専攻長・学科長会議を開催する方向で調整を開始している。

以上